

市の公園の維持管理について



内田 勝康
議員

現在、市が管理している公園は300を超えており、その中には子ども用の遊具が設置されている公園が多くあります。新聞やテレビ等で、公園の遊具での子どもの事故が報道されていますが、遊具の管理状況を伺います。

また、鉄製フェンスがさびて腐食してしまい、見た目もおお粗末で、公園で遊ぶ子どもたちが危険な場所があります。早急な対応が必要ですが、市の対応を伺います。

最後に、公園内の樹木について、剪定が行われていないため葉が少なく、遊歩道がアメリカシロヒトリのふんで赤茶けています。公園の樹木の管理について伺います。

○建設部長

公園遊具の管理は、遊具の破損等による事故を未然に防止することを目的として、専門の遊具調査会社により、年1回の点検を行っています。



災害時における春日部市の対応について



五十嵐みどり
議員

鉄製フェンスは、塗装や破損個所の補修工事を計画的に行うことが耐用年数を延ばす上で重要と考えています。なお、子どもの飛び出し等の危険が予測される個所は、応急的な修繕を行っています。

樹木の管理は、業務委託により、樹木剪定や害虫駆除のための消毒を行い、また、倒木防止や防犯を目的として周囲からの見通しを確保する等、必要に応じて伐採しています。

このほか

○市街化調整区域内の道路側溝の整備について

○河川と市道の境界の管理

災害時の避難場所は、一般的に学校の体育館で共同生活を強いられます。妊産婦や乳幼児のいる要援護者には、このようなところでの避難生活は困難です。そこで、妊産婦らを市内のホテルや温泉施設などで受け入れる災害協定を結ぶことを提案いたしますが、市の考えを伺います。

また、民間の施設にもお願いしつつ、市内の公共施設の中にも畳の部屋があり、プライベートの確保ができ、心身の負担を軽減できる建物もあると思いますので、市内の施設でも受け入れが可能とならないかについても検討すべきだと思いますので、市の考えを伺います。

○危機管理防災室長

妊産婦や乳幼児のいる方などの着替えや授乳などが安心してできるようにする目的で、市内のビジネスホテルや温泉施設など民間事業者と災害協

定を締結することは必要なことだと考えています。今後、ビジネスホテルや温泉施設などの民間事業者に対して、できる範囲での協力をお願いしたいと考えています。

また、現在公共施設で畳の部屋や入浴施設のある市の施設は、災害時に避難場所として指定していますので、災害の状況により、施設を利用したいと考えています。

このほか
○春日部市のスクール・ニューデイールについて
○春日部市内の小中学校に防犯カメラの設置を

**バスの台数を増やし
春バスの充実を!**



福田 晃子
議員

赤沼地域などの交通不便地域への延伸、西宝珠花地域のコース変更・充実、毎日運行で、高齢者にも喜ばれる春バスにするには、バスの台数を増やすことにはできません。また、来年8月には庄和児童センター、11月には庄和図書館がオープンします。そ

れに合わせた春バスの充実が必要ですが、そして、これまで提案してきたデマンド方式の採用を、春バスの台数とは別枠でデマンドバス・デマンドタクシーとして運行していただきたいと思っています。

平成23年度からの実施ではなく、住民の願いに応え、早期充実・改善を求めます。

○都市整備部長
10月中旬に春日部市地域公共交通活性化協議会を設立し、平成22年度に春バスの第2次運行計画を策定し、平成23年度から計画に基づく実証運行を開始する予定になっています。毎日運行、経路、バス台数、デマンド方式の運行なども含めて、春日部市における実情を十分に踏まえた中で、最も適した計画を策定していきたいと考えています。

早期充実については、実証運行期間中の春バスの正確な利用動向や安定した実績を把握するため一定の期間を要すること、国庫補助活用のための調整等を考えると困難です。

このほか
○庄和第1保育所は指定管理者になってどうなったか
○国民健康保険の低所得者対策の充実を

防災行政について



進 議員
山崎

防災地区別訓練、防災関係イベントで配布し、有効活用を図っています。しかし、それらの活用が難しく期限の過ぎた食品などについては、やむを得ず廃棄処分しています。

今後は、市が主催、共催する各種イベントや学校等で防災意識の啓発に利用したり、炊き出し訓練等で利用するなど、関係機関と協議をして、有効利用を図り、廃棄処分を少なくしたいと考えます。また、関係団体と災害協定の拡充に努めたいと思います。

このほか

市立病院の産科・小児科再開の見通しは



浩一 議員
松本

10月5日からの産科再開について説明をお願いします。

産科医師3名、小児科医師2名体制で対応できるのか心配です。負担が掛かってしまいい、また休診となってしまうは大変です。そうならないようにするための対策について伺います。

市立病院の本来の役割は、小児救急や異常出産などへの対応です。小児科・産科の完全な再開への取り組みと、見通しについて伺います。

病院事務部長

10月から妊婦健診を実施し、来年2月以降の出産予定者から予約を受け付けます。しばらくは、対象者は市内居住者で、10人程度からスタートしたいと考えています。

経験豊かな医師と小児科医師のバックアップや、助産師の研修の実施等、産科再開に向けた準備を行ってきたため、安心した医療と看護が提供できるものと考えています。

医師の確保が難しい状況ですが、職員体制の拡充を図りながら受け入れ枠の拡充に努めていきたいと考えています。

病院事業管理者

引き続き、産科・小児科医師の確保に全力を尽くします。

このほか

○公民館使用料の減免措置の拡充を

○市独自で「少人数学級」の実施を

○小渕小学校北側道路の冠水防止対策を

○市が占有している私有地問題の早期解決を

特定外来生物について



裕史 議員
鬼丸

もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすものを特定外来生物として、現在96種類が指定されています。本来いはずのものが入ってきたこと

で、古来いたものがないなくなり、場合によっては人の生命、身体に影響を及ぼすことがある特定外来生物について、市内における生息状況と被害の発生状況を伺います。

また、特定外来生物が与える影響は、今後どのように展開していくのか予測がつかないため、特定外来生物は、なるべく減らしていく施策が重要です。そこで、特定外来生物の駆除や市民への注意喚起のPRを進めるべきと考えますが、市の考えを伺います。

環境経済部長

市内では、侵略的外来生物であるアライグマ、カミツキガメをはじめ、ウシガエルなど12種類の特定外来生物を確

認しています。被害や苦情は、アライグマによる農作物への被害や住居の屋根裏への侵入による、ふん尿等の住宅被害及び心理的被害があります。市民に対しては、遭遇した場合の対応やペットとして飼っている場合は安易に捨てないこと等について、広報紙や市ホームページを通じて周知します。さらに、県や近隣市町等と連携を取りながら対応していきたいと考えています。

このほか

○地球温暖化防止策について

○学校教育における家庭・地域との連携について



アライグマ

石川市政の 4年間を振り返って



白土 幸仁 議員

6月定例会の一般質問に対し、市長選挙への再出馬を力強く表明し、春日部市の発展にこの身のすべてをささげる覚悟と答弁しています。

市長は前回、行政には信頼を生活環境には安心・安全を重視します、コストとそれによる効果を重視する市政経営を行います、日本一子育てしやすいまちの推進と商都の復活で人が集う元気なまちにしますとの3つの基本姿勢を掲げ、合計22項目を公約としていましたが、その達成状況について伺います。

また、達成状況について、市長の見解を伺います。

○市長

公約の件ですが、私自身で取りまとめたところ、現時点での公約達成状況は、22項目中、達成した項目が10項目、おおむね達成した項目が7項目となり、22項目中17項目、率にして約77%が達成、また

は、おおむね達成できたものと考えています。

一定の成果を上げたとの自負もありますが、これらの公約並びに総合振興計画に盛り込んだ施策について、さらに自らの責任において完成させていきたいと考えています。

これまで市民の願いを市政に反映させ、市の将来像と夢を共有し、一緒になって取り組むこととし、全力で取り組んできました。

今後、現場主義のさらなる徹底を強く決意するとともに、誠心誠意実践していききたいと考えています。

国と地方自治体のあり方について



会田 幸一 議員

先の衆議院議員総選挙におきまして民主党中心の連立政権が誕生しましたが、国民にとっては今後の国のあり方の選択にかかわる重要なものであったと感じています。

そこで、民主党マニフェストの中で市が影響を受ける内容について、今後の対応も含

めて伺います。特に、自治体への権限と財源の移譲について及び、一括交付金と地方交付税について、また、ガソリン税等の暫定税率が廃止された場合の影響を伺います。

○総合政策部長

市が影響を受ける施策としては、出産一時金の見直し、生活保護母子加算の復活、父子家庭へ児童扶養手当の支給、保育所待機児童の解消、子ども手当の創設、後期高齢者医療制度の廃止、社会保障費削減方針の撤回等があります。

また、基礎自治体への権限と財源の移譲についての具体的な内容は、国と地方の協議の状況に注意してまいります。

○財務担当部長

一括交付金は、地方が自由に使えるものとなるようですが、今後その動向を見て対応します。地方交付税については、財源確保、適正交付などを国に要望してまいります。

道路特定財源の暫定税率の廃止については、道路街路事業、市街地整備事業等に影響があるので、暫定税率を堅持するよう要望してまいります。

このほか

○太陽光発電への補助制度創設について

仮称「ホタル保護条例」について



武 幹也 議員

今年も内牧黒沼公園でホタルの観賞会が開かれ、1000人を超える人々がホタルの観賞を楽しみました。

また、今年はいんぐ・ハットに隣接するピオトープでもホタルの幼虫の放流に成功し、多くのホタルが飛びました。ホタルの幼虫を飼育し、校内に放流することを総合学習のテーマにしている小学校もあります。

ホタルが飛ぶ春日部市の夏を私も毎年楽しみにしていますが、ホタルの自生地である里の水田は農業集落排水整備事業や農薬の使用等により、以前にも増してホタルや昆虫等の生物が減少しています。

今後は子どもたちのためにも昆虫等の生物を増やし、ホタルが生育できる自然を取り戻すように、仮称「ホタル保護条例」の制定を進めるべきと考えていますが、条例制定に対する考えを伺います。

○環境経済部長

(仮称)ホタル保護条例の制定については、ホタルの生息地が把握されていない現状では、難しいと考えています。今後はモニタリング調査を行うことを基本に、この条例を制定している他の自治体の調査分析等を進めていきます。

このほか

- 災害弱者に対する家具転倒防止器具無料設置について
- 新型インフルエンザの今後の対策について
- 今後の内牧公園について
- 図書館外の返却ポストについて



土地利用計画について



武島 議員

どの要衝という地の利を生かした産業振興の拠点となるよう、今後も引き続き関係部署と連携を図り、企業立地を促進していくとともに、都市的土地利用の転換に向けて取り組みたいと考えています。

国道16号、国道4号バイパスが交差する庄和インターチェンジ周辺地区の土地利用ですが、この地区は、道路交通の利便性が非常に高く、東埼玉道路沿道の地区でもあることから、将来の流通業務等の集積拠点として、土地利用が大いに期待されています。

まちづくりエリアの中でも産業集積の拠点ともなり得る庄和インターチェンジ周辺地区については、積極的かつ重点的に土地利用を推進し、企業誘致を図っていくことが地域の産業振興、ひいては春日部全体の活性化につながることも、担税力の強化になるものと思います。

そこで、庄和インターチェンジ周辺地区における土地利用計画の状況、また、今後の取り組みについて伺います。

○都市整備部長
庄和インターチェンジ周辺地区については、道路交通な



庄和インターチェンジ周辺

また、圏央道沿線と同様の整備効果が期待できる東埼玉道路について、早期着工を積極的に促進するとともに、庄和インターチェンジ周辺開発についても、民間活力の導入を図りながら、積極的に促進していきたいと考えています。

このほか
○治水対策について

土地利用の推進について



野口 浩昭 議員

庄和インター周辺の地域は、昭和45年に市街化調整区域に指定されました。その後、国道16号バイパスと国道4号バイパスが開通し、下柳地区で交差していることから庄和インター周辺地域の交通の利便性が向上してきました。

この地域は、総合振興計画の中で産業集積の重要拠点として位置付けられ、企業の立地が進んでいるところです。地域の人たちは長年守ってきた土地を産業経営のために簡単に企業に転換するというわけにはいかないようです。しかし、今後農業従事者の高齢化が進む中で、農業を続けられない従事者が増えることを考えると、商工業地として活用することも選択肢の一つであると思えます。平成19年には金崎、上柳、下柳、永沼地区の合同で庄和中部地区の土地利用に関する要望書が、市長に対し提出されました。

そこで、本市はこの地域が農業地域から商工業地域に転換する方針を示していますが、どのように転換を進めていくのか伺います。

○環境経済部長

庄和インターチェンジ交差点周辺の地域は、総合振興計画の土地利用構想の中で産業集積ゾーンと位置付けられています。「都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」の指定区域に、製造業や運輸業を中心とした企業誘致を積極的に行っています。

このほか

○傾聴ボランティアについて

狭隘な市道1-9号線に
対しての対策を問う



阿部 喜一 議員

市道1-9号線は、藤塚香取神社交差点からゆりのき橋まで、950メートルの間の土手沿いの道です。緑町方面からゆりのき橋を渡って右折すると急な坂になっていて、その先に狭隘で危険な場所があるのです。17年前にもこの狭隘な1-9号線の幅員とい

うことで取り上げておりましたが、当時と幅員は全く変わっておらず、変わったところといえばガードレールの設置のみ。ゆりのき橋の完成に伴い、堤防の拡幅等を含め、危険回避の措置は取れないのか。

○建設部長

市道1-9号線については、ゆりのき橋の開通に伴い利用する車両が多くなっている状況です。整備状況としては、藤塚香取神社から650メートルの間については、昭和46年に6メートルに拡幅整備をしています。その先、ゆりのき橋までの300メートルについては、住宅の建築時等に道路後退をお願いし、協力を得られた箇所については6メートルに広がっています。

また、藤塚第三土地区画整理区域については、事業の施行により拡幅されています。しかし、この区間には、ご指摘の通り幅員約4・2メートルの部分がありますので、今後も建築時等に道路後退をお願いしてまいります。

このほか
○銚子口橋架橋につき、その後の対応を問う
○迷惑施設に対する地元への配慮及び今後の対応を問う